

Space Net 三次元網 【更新履歴】

※更新版はメールで送信いたしますので、アドレス変更時にご連絡願います。

赤個所・・・今回更新

Space Net 三次元網

バージョン	更新内容	現在配布CD
Ver1.00	□旧ジオイドモデルVer5	
Ver1.01	□ジオイドモデルをVer5→ジオイド2011+2000に変更 西日本(中国・四国・九州地方)におけるジオイドモデルを高精度に更新	
Ver1.02	□ジオイドモデルを2011+2000→ジオイド2011ver1.0に変更 一部離島を除く北海道、東日本(東北から近畿地方)、沖縄島におけるジオイドモデルを高精度に更新 今回の改定で、一部有人離島を除き全国47都道府県において、「日本のジオイド2011」が適用されます	
Ver1.03	□精度判定シート(精仮・精実)を修正(残差2列、標高の閉合差1列の数式にABS関数追加し、プラス表示)	
Ver1.04	□閉合シートの仮定網(水平と標高)の許容範囲は、少数3桁未満切捨に修正	
Ver1.05	□一覧タイプの3・4級成果表追加(入力6、成2シート追加)、メニューシート改良(3・4級成果表ボタン追加)	
Ver1.06	□ジオイドモデルを2011ver1.0→ジオイド2011ver2.1に変更 「日本のジオイド2011」(Ver.2)は、「日本のジオイド2011」(Ver.1)に一部の離島部のジオイド・モデルを加えたものです <small>なお、北海道・九州・四国・九州・沖縄本土と周辺の島のジオイド・モデルに変更はありません。</small>	
Ver1.07	□3・4級基準点成果表は、辺長表示は球面距離のため縮尺係数追加・その他項目の配置変更	
Ver1.08	□基準点成果表に、ジオイドモデル名を追加 □精度管理表の項目名を一部変更(作業規程様式変更に対応)	
Ver1.09	□成2シート(3・4級成果表)修正。(入力6でST計算無し選択時の3～5ページのエラー表示回避)	
Ver1.10	□入力4シートの分散共分散箇所の白いセルの保護解除(一度に入力、削除可能) □管理1シートの特記事項欄のステックは固定値から入力件に変更(ネットワーク型RTK等も入力可)	
Ver1.11	□入力4、入力5シートの測点番号入力時に表示されるドロップダウンリスト(セル右側▽マーク)の全点行を詰めて表示(空白未表示) □エクセル2016になり、①数字表示が#になった列幅を拡大 ②文字欠けになった各マクロボタンの幅を拡大	
Ver1.12	□メニューの一部マクロボタンにメッセージボックス表示追加 □メニューの入力値クリア実行した時の時間短縮 □管理2反映シート非表示 □他ソフト連携シート追加(成果座標一覧)し、メニューにボタン追加	
Ver1.13	□ジオイド高の計算元のジオイドモデル(2011ver2.1)が、指定高について、一部修正。地理院からジオイドモデルを取込後に、少数以下について元の値と違っていたバグを修正しました。 修正数はジオイドモデル全体の0.2%で、このバグにより帳票に影響していた箇所は、楕円体高、ジオイド高等になります。	
Ver1.14	□図1シートのグラフに点名追加 □入力2・3シートの「本シート入力後、必ず押します」ボタンの内容修正 □仮定網の残差を精度管理表に貼付するボタンを削除し、平均計算実行ボタンに統合	
Ver1.15	□ジオイドモデルを2011ver2.1 → ジオイド2011ver2.1に変更 「日本のジオイド2011」(Ver.2.1)は、北海道利尻島周辺の値を更新しています。その他の地域は「日本のジオイド2011」(Ver.2)から数値の変更はありません。	
Ver1.16	□セミダイナミック補正機能を追加し、本機能の追加により付属ソフトのセミダイナミック補正組込三次元網は廃止となります。	
Ver1.17	□成果数値データ(テキストファイル)出力可能としました。	○

付属ソフト:セミ・ダイナミック補正組込三次元網 (未検定)・・・R1.5.28～廃止(上記三次元網で対応)

バージョン	更新内容	現在配布CD
Ver1.01	□セミダイナミック補正パラメータは、ごくまれに0の場合もあるため、その場合も計算可能としました。 □セミダイナミック補正パラメータは、2012～2009の4年対応	
Ver1.03	□旧ジオイドモデルVer5 □セミダイナミック補正パラメータは、2013の1年対応	
Ver1.04	□ジオイドモデルをVer5→ジオイド2011+2000に変更 西日本(中国・四国・九州地方)におけるジオイドモデルを高精度に更新 □セミダイナミック補正パラメータは、2013・2014の2年対応 □ジオイドモデルを2011+2000→ジオイド2011ver1.0に変更 一部離島を除く北海道、東日本(東北から近畿地方)、沖縄島におけるジオイドモデルを高精度に更新 今回の改定で、一部有人離島を除き全国47都道府県において、「日本のジオイド2011」が適用されます	
Ver1.05	□セミダイナミック補正パラメータは、2013～2015の3年対応	
Ver1.06	□精度判定シート(精仮・精実)を修正(残差2列、標高の閉合差1列の数式にABS関数追加し、プラス表示)	
Ver1.07	□閉合シートの仮定網(水平と標高)の許容範囲は、少数3桁未満切捨に修正	
Ver1.08	□一覧タイプの3・4級成果表追加(入力6、成2シート追加)、メニューシート改良(3・4級成果表ボタン追加)	
Ver1.09	□セミダイナミック補正パラメータは、2013～2016の4年対応 □斜距離の残差シート全基線の列幅拡張(基線10km以上の時の###表示回避)	
Ver1.10	□ジオイドモデルを2011ver1.0→ジオイド2011ver2.1に変更 「日本のジオイド2011」(Ver.2)は、「日本のジオイド2011」(Ver.1)に一部の離島部のジオイド・モデルを加えたものです <small>なお、北海道・九州・四国・九州・沖縄本土と周辺の島のジオイド・モデルに変更はありません。</small>	
Ver1.11	□既知点と新点のセミダイナミック補正量の足算の計算単位は、60進数から10進数同士に修正	
Ver1.12	□セミダイナミック補正パラメータは、2014～2017の4年対応	
Ver1.13	□3・4級基準点成果表は、辺長表示は球面距離のため縮尺係数追加・その他項目の配置変更	
Ver1.14	□基準点成果表に、ジオイドモデル名を追加 □精度管理表の項目名を一部変更(作業規程様式変更に対応)	
Ver1.15	□成2シート(3・4級成果表)修正。(入力6でST計算無し選択時の3～5ページのエラー表示回避)	

Ver1.16	□セミダイナミック補正パラメータは、2015～2018の4年対応	
Ver1.17	□入力4シートの分散共分散箇所 の白いセルの保護解除(一度に入力、削除可能) □管理1シートの特記事項欄の スタティックは固定値から入力件に変更(ネットワーク型RTK等も入力可)	
Ver1.18	□入力4、入力5シートの測点番号入力時に表示されるドロップダウンリスト(セル右側▽マーク)の全点行を詰めて表示(空白未表示) □エクセル2016になり、①数字表示が#になった列幅を拡大 ②文字欠けになった各マクロボタンの幅を拡大	
Ver1.19	□メニューの一部マクロボタンにメッセージボックス表示追加 □メニューの入力値クリア実行した時の時間短縮 □管理2反映シート非表示 □他ソフト連携シート追加(成果座標一覧)し、メニューにボタン追加	
Ver1.20	□ジオイド高の計算元のジオイドモデル(2kmメッシュ、格子点)について、一部修正。地理院からジオイドモデルを取込後に、少数以下について元の値と違っていたバグを修正しました。 修正数はジオイドモデル全体の0.2%で、このバグにより帳票に影響していた箇所は楕円体高、ジオイド高等になります。 □セミダイナミックパラメータは、地理院のparファイルを入力1シートのボタンで読み込む方法に変更。今まで直近4年分のパラメータを選択できましたが、今回からは読み込んだ単年度の対応となります。直近のparファイルを地理院HPからダウンロードしてからマクロを実行してください。	
Ver1.21	□図1シートのグラフに点名追加 □入力2・3シートの「本シート入力後、必ず押します」ボタンの内容修正 □仮定網の残差を精度管理表に貼付するボタンを削除し、平均計算実行ボタンに統合	
Ver1.22	□ジオイドモデルを2011ver2 → ジオイド2011ver2.1に変更 「日本のジオイド2011」(Ver.2.1)は、北海道利尻島周辺の値を更新しています。その他の地域は「日本のジオイド2011」(Ver.2)から数値の変更はありません。	

付属ソフト: 基線ベクトル点検計算

バージョン	更新内容	現在配布CD
Ver1.01	□環と電子基準点の許容範囲は、mm未満切捨に修正	
Ver1.02	□計算方法手動に変更、4シートのマクロボタンに再計算実行文追加	
Ver1.03	□メニューのマクロボタンにメッセージボックス表示追加 □入力3結合→入力4結合にシート名変更	○

付属ソフト: VRS間接法 観測点間のベクトル計算

バージョン	更新内容	現在配布CD
Ver1.01	□計算方法手動に変更、2シートのマクロボタンに再計算実行文追加	○

付属ソフト: 電子基準点の三次元網入力標高計算

バージョン	更新内容	現在配布CD
Ver1.00	□三次元網平均計算ファイル及びセミ・ダイナミック補正組込三次元網ファイルに入力する電子基準点(既知点)の標高を計算するファイルを追加しました。本ファイルは、成果表の楕円体高とジオイド高2011ver2から標高を算出しています。電子基準点以外の既知点は、成果表の標高を三次元網に入力します。また、GNSS水準の場合、電子基準点は成果表の標高を三次元網に入力します。	○